



博物館のあらまし

全国平定後、中国・朝鮮半島侵略を開始した豊臣秀吉は、この地に名護屋城を築いて出兵基地としました。約7年におよんだ文禄・慶長の役(壬辰・丁酉倭乱1592～98)は、日本列島と朝鮮半島との長い交流を一時断絶させた不幸な出来事でした。現在、この戦争の舞台となった名護屋城跡と、参集した全国の大名の陣跡の一部は「名護屋城跡並陣跡」として国の特別史跡に指定されています。

名護屋城博物館は、この広大な遺跡の保存整備事業の中核施設となるとともに、日本列島と朝鮮半島との交流の歴史を調査・研究・展示紹介し、今後の友好・交流の推進拠点となることを目指しています。

当館の主な活動内容

- (1) 特別史跡「名護屋城跡並陣跡」の調査・保存・活用
- (2) 城郭と「日本列島と朝鮮半島との交流史」に関する資料の収集・保管・調査・研究・展示・普及
- (3) 交流史研究を主体とする国際学術・文化交流事業



企画展示室(2F)



ホール(1F)



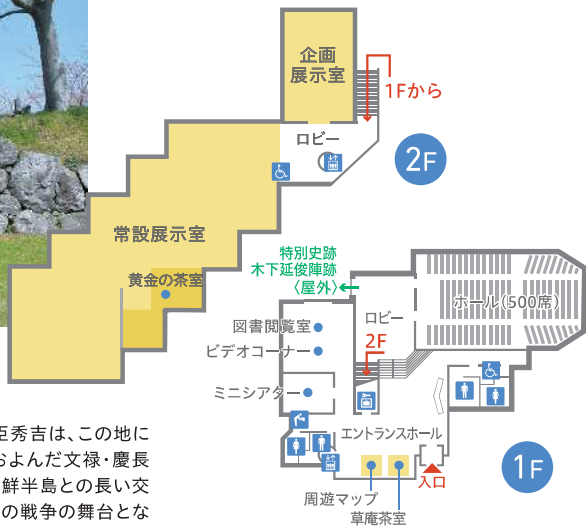
草庵茶室(エントランスホール内)



図書閲覧室/ビデオコーナー(1F)



ミニシアター(1F)



ご利用案内

- 開館時間: 午前9時～午後5時
- 休館日: 月曜日(祝日の場合はその翌平日)
年末年始(12/29～1/3)
- 入館料: 無料 ※特別企画展は有料となる場合があります
- 所在地: 〒847-0401
佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3
- Tel / Fax: (0955)82-4905 / (0955)82-5664
- E-mail: nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp
- URL: <https://saga-museum.jp/nagoya/>



交通アクセス



常設展示室

常設展示では、文禄・慶長の役(壬辰・丁酉倭乱1592~98)と、その出兵拠点となった特別史跡「名護屋城跡並陣跡」を中心に、日本列島と朝鮮半島との交流史を紹介しています。展示室内は、「特別史跡名護屋城跡並陣跡」、「名護屋城以前」、「歴史の中の名護屋城」、「名護屋城以後」の4つのコーナーで構成しています。

原始・古代から続いてきた交流の歴史から、将来の交流・友好の指針を見いだしていただければ幸いです。

1 特別史跡名護屋城跡並陣跡

名護屋城跡は、桃山時代の城郭の中で最大級の城跡であるという点で、極めて貴重な文化財です。この名護屋城跡と、全国から集まった諸大名の陣跡の発掘調査成果や環境整備の状況について、出土遺物などを通じて紹介しています。



青花大皿
(堀秀治陣跡出土)



金箔巴文軒丸瓦
(名護屋城跡天守台出土)



金銅如来立像

2 名護屋城以前

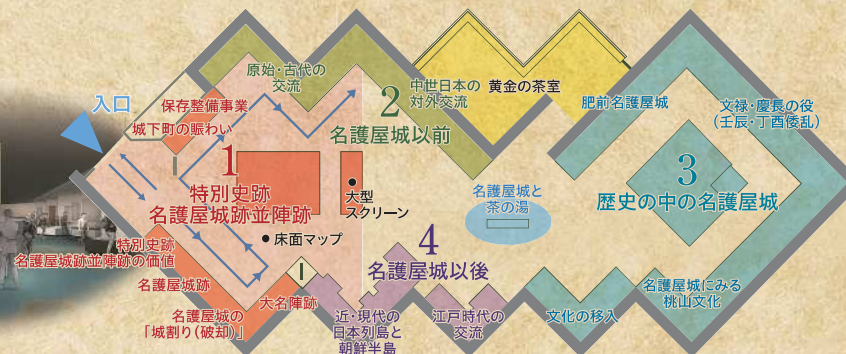
原始・古代から中世におよぶ交流の歴史や、日本文化の形成と発展に多大な影響を与えた外来文化を示す考古・美術・工芸資料を展示しています。



鳥形土器



黄金の茶室(復元)



4 名護屋城以後

江戸時代の国交回復から現代にいたるまでの日本列島と朝鮮半島との関わりを示す資料を展示し、将来の交流の展望を導き出すきっかけとします。



朝鮮通信使行列絵巻

3 歴史の中の名護屋城

文禄・慶長の役(壬辰・丁酉倭乱)に関する文献や絵画資料からこの戦争を明らかにしていきます。また、出兵を機に発展した陶磁器、武將達が好んだ茶の湯や能など、桃山文化についても紹介しています。

肥前名護屋城図屏風 (佐賀県重要文化財)



豊臣秀吉画像
(佐賀県重要文化財)



北政所宛豊臣秀吉自筆書状 (佐賀県重要文化財)

名護屋城と茶の湯

豊臣秀吉は、名護屋城の黄金の茶室や草庵茶室でたびたび茶会を開きました。当時の日記や名護屋に残る遺構をととして、全国から名護屋に集まった大名や商人が茶の湯によって交流を深めた様子を振り返ります。



堀秀治陣跡の露地



天目茶碗(名護屋城跡山里口出土)



名護屋城跡山里口



名護屋城跡天守台跡